



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2015.12

No.380

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



2015 年 秋 タカの渡り調査結果

日本野鳥の会埼玉 研究部

● 研究部主催の調査から

研究部では毎年9月末に、会員の皆様と共にサシバ、ハチクマなどのタカの渡り調査を行っています。今回は、9月27日(日)に中間平(寄居町、担当:千島康幸)と天覧山(飯能市、担当:鈴木秀治)の2カ所で行いました。その結果を下の表に示しました。当日は悪天候のせい、渡りのタカ類は観察されませんでした。調査には担当含め18名の方々にご協力いただきました(参加者名は後ほど行事報告欄に掲載)。ありがとうございました。

観察場所	天候	時間	観察された個体数		その他のタカ類	参加者
			サシバ	ハチクマ		
中間平緑地公園(寄居町秋山)	曇一時雨	08:00~12:00	0	0	ノスリ、トビ	9名
天覧山(飯能市飯能)	曇時々小雨	09:00~10:50	0	0	トビ	9名

<天覧山 調査報告(ふじみ野市 鈴木秀治)>

秋雨前線の影響でぐずついた天候の中、「中秋の名月」の日のタカの渡り調査を開始した。天気予報は、朝9時頃が最悪の小雨交じりの曇り、その後昼過ぎ3時頃にかけて回復に向かうとの事。調査には、開始時に天覧山タカ渡り観察グループ5名(後に2名追加)、当会8名(後に1名追加)、少し過ぎて武蔵野野鳥の会8名が参加。天候は、時に雲が切れて青空が垣間見えるがすぐに厚い雲に覆われ小雨もパラつく状況。武蔵野野鳥の会は10時半頃に下山。当会も10時50分に観察を中止し下山。この間、渡りのタカは確認できず、メジロ、ヤマガラ、ヒヨドリ、トビを観察するにとどまった。

● 2015 年秋・県内各地のタカ渡り状況

研究部主催の調査は上記の2カ所1回のみですが、これとは別に県内各所で、多くの会員の皆様が、あるいは当会以外の団体の方々が、シーズン中、頻りにタカの渡りの観察を続けています。天覧山と中間平ではほぼ毎日の観察が行われています。なお2008年から7年間、当会会員が行ったさいたまー蓮田市境における連続観察は、『しらこぼと』2014年12月号で報告されたように、高速自動車道サービスエリア建設その他の理由により2014年で終了しました。しかしサービスエリアのように舗装された広い場所は、渡りのタカが利用する上昇気流が発生しやすいと考えられます。ここで観察を中断するのはもったいない。そこで今年は9月11日から9月28日まで、有志で断続的に9回の観察を行いました。観察場所は諸般の事情から、蓮田市の黒浜沼周辺に移しました。

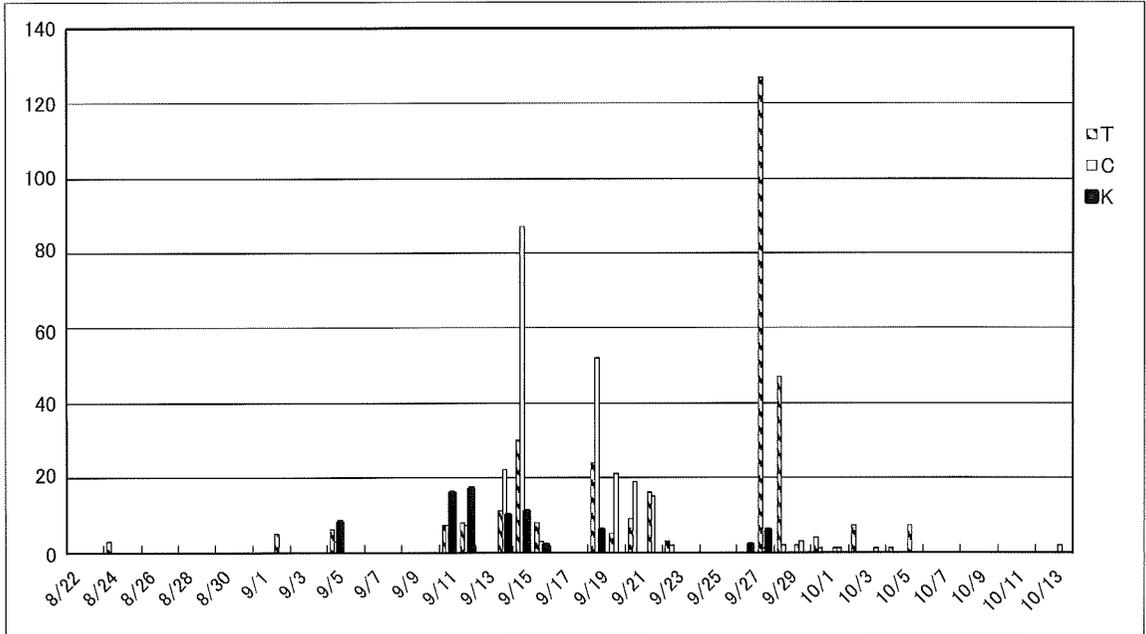
<県内のタカ渡りポイント3カ所の比較>

2015年8月下旬~10月上旬に天覧山(T)、中間平(C)、黒浜沼周辺(K)で観察されたサシバの個体数を次ページのグラフに表しました(ハチクマ、ノスリは省略)。

8月下旬から9月5日までの間に、T、C、Kで少数のサシバが観察されていますが、西や南へ渡ってゆく個体は少なく、まだ渡りのスイッチが入っていない様子でした。1週間近く雨が続いた後、各地で動きがありました。この時季にとくに多かったのはKでした。9月11、12日の2日間で30羽以上が観察されました。この地域で大きな動きが見られるのは、例年は9月初旬ですが、今年はこの時季に雨が続いたため遅くなったと考えられます。Cは9月15日に87羽、9月19日に53羽。このあたりが今季のCのピークでした。Tでは9月28日、皮肉にも研

究部主催の調査の翌日に“サシバ・デー”、127羽！

今年も昨年同様に、3カ所のサシバの動き方にズレが見られました。早い時期に県東部に現れたサシバ達はその後、どこでどうしているのでしょうか？ 謎解きはこれからです。なお、天覧山のデータは、「天覧山タカ渡り観察グループ」（代表 市川和男氏）のご厚意により、ウェブサイト『Hawk Migration Network in Japan』で公開された記録を使用させていただきました。心より御礼申し上げます。



<その他の観察記録>

今シーズンは初めての試みとして、当会ホームページでタカの渡り情報を募集しました。他にも観察記録が寄せられました。これらを以下の表にまとめてみました。お知らせくださった皆様、ありがとうございました。

観察場所	観察日時	観察内容	他の鳥、備考
蓮田市 黒浜沼周辺	9月3日	サシバ(1羽、南西へ渡る)	前記定点観察とは別の観察
蓮田市 西城沼公園周辺	9月3日	サシバ(4羽、渡らず)	
さいたま市岩槻区岩槻文化公園	9月11日	サシバ(1羽、南へ渡る)	
川島町松永	9月12日	サシバ(3羽、南へ渡る・2羽、渡らず)／ツミ(3羽、南へ渡る)	
さいたま市見沼区見山	9月20日	サシバ(1羽、渡らず)	三室地区定例探鳥会で観察
坂戸市川角	9月20日	サシバ(2羽)	高麗川探鳥会で観察
川島町 ミツ又沼 ビオトープ	9月16日	サシバ(5羽、西へ渡る・1羽、渡らず)	トビ多数、オオタカ1
	9月19日	サシバ(3羽、渡る・1羽、渡らず)／ノスリ(3羽、渡る・1羽、渡らず・2羽不明)	トビ多数、チョウゲンボウ1
	9月22日	ノスリ(2羽、渡る・2羽、渡らず・3羽不明)	トビ多数、オオタカ1、ケリ15+、遠方に5羽のタカ柱(不明種)
	9月28日	サシバ(13羽+、渡る・1羽、渡らず)／ノスリ(2羽、渡る)／ハチクマ(1羽、渡る)／ミサゴ(1羽、渡る)	トビ多数、オオタカ1

2015 年秋 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉 研究部

日 時： 2015年9月23日 9:40～11:27

場 所： さいたま市 大久保農耕地

天 候： 晴れ

東日本は、三陸沖に中心を持つ高気圧に覆われ、晴れて夏日となりました。また、連休の最終日でしたが、14名の協力が得られました。ありがとうございました。

ほとんどの田は稲刈りが終わっており、連休前の雨のためか所々湿っていました。しかし、A区でムナグロ1羽、B区でタシギ1羽、タシギ属不明6羽が確認されただけでした。はっきりしたことは分かりませんが、9月に入ってから長雨や台風などの影響があるのかもしれない。

シギ・チドリ類はあまり観察されませんでした。ミサゴが調査前に飛んだり、ノビタキをゆっくり観察したりと、それなりに楽しむことができました。



下の表は過去 10 年間の調査結果をまとめたものです。それ以前は「しらこぼと」2012年12月号 (No.344) をご覧ください。

※表の中の「タシギ属不明種」、「シギ科不明種」は、種数には入れませんでした。

※2013 年の本調査 (9/16) は台風のため中止したので、参考調査の記録を載せました。

(石井 智)

秋のカウント結果 (大久保農耕地)

年	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
調 査 日	9/18	9/17	9/15	9/21	9/20	9/19	9/17	9/23	9/15	9/23
天 候	雨・曇り	晴れ	曇り	曇り	曇り	晴れ	晴れ・曇り	曇り	曇り	晴れ
1 ムナグロ	13	8	70	8					17	1
2 オオジシギ		2								
3 タシギ	23	15	4	9	5	7		21	23	1
4 オグロシギ								1		
5 アオアシシギ	5									
6 クサシギ		3								
7 タカブシギ	1	7								
8 イソシギ			1							
9 タマシギ		2								
タシギ属不明種	2	2			1			7	4	6
シギ科不明種		1								
合 計	44	40	75	17	6	7	0	29	44	8



野鳥情報

蓮田市西城沼公園とその周辺 ◇9月3日、屋敷林の樹冠にサシバ2羽、内1羽は若鳥。他に3羽が旋回。9月5日、サシバ2羽、更に2羽、旋回して南東に流れた。チョウゲンボウ1羽。9月6日、サシバ1羽が南東に飛んだ。9月7日、電線のムクドリ70羽の中に、コムドリ3羽が寄り添っていた。9月11日、メジロ、シジュウカラ、コゲラの混群の中にエナガが5羽。今季初認。午後4時、サシバ1羽が頭上を旋回、屋敷林に入った。9月12日午前6時30分、コジュケイの声を久しぶりに聞く。9月15日、エナガの巣立ち雛3羽が枝移り。繁殖したのだろうか？ 9月16日、サシバ2羽が旋回して南東に流れた。9月20日、モズ1羽。今季初認。9月23日、カケス3羽、北西から飛来。今季初認。ツミ2羽がナラ林の上空でバトル。東と西に分かれた。9月24日、サシバ1羽が樹冠で休んでいた。カケス1羽が飛んだ。9月26日、モズ高鳴き。9月30日、モズ高鳴き。メジロ、シジュウカラ、コゲラの混群の中にエナガが2羽。エゾビタキ1羽が風を避けてか、目線の高さに(下写真)。今季初認(長嶋宏之)。



川越市伊佐沼 ◇9月9日、カルガモ・コガモの群れの中にシマアジ4羽(♂エクリプス3羽、たぶん♀と思われる個体1羽)。アジサシ成鳥、まだ夏羽っぽい個体が2~3羽飛んでいた(榎本秀和)。

坂戸市浅羽ピオトープ ◇9月10日午前8時

~8時30分、ネムノキ広場から台風17号・18号による大雨で増水した流れの速い高麗川を見る。対岸奥の電柱にオオタカ1羽。下流中里堰左岸の高木にカワウ3羽。右岸そばの中州にダイサギ2羽。向かい合う様に佇むアオサギ1羽。草むらにカルガモ8羽。流れ際の木の棒にとまるカワセミ♂1羽。イカルチドリ1羽が飛び立ち、セグロセキレイ2羽も追いかけてこ。午前8時40分、ピオトープ駐車場近くの堤外地で河畔林草藪から出てきたキジ成鳥♂♀各1羽と幼鳥♂3羽♀1羽のファミリーを見る(増尾隆)。

蓮田市黒浜沼周辺 ◇9月12日、ツバメと一緒に早く飛ぶショウドウツバメを見つける。ツバメとショウドウツバメが入り乱れて飛んでいた。他にサシバ、カケスなど(菊川和男)。

鴻巣市滝間室 ◇9月14日、荒川の河川敷のアシ原にヨシゴイが1羽。マイフィールドでの観察は30年ぶり?(榎本秀和)。

さいたま市岩槻区馬込 ◇9月16日正午、綾瀬川北側の田んぼでチュウサギ、ダイサギ計17羽、スズメ約100羽(本多己秀)。

行田市斎条 ◇9月18日午前、アオアシシギ13羽、コアオアシシギ9羽、セイタカシギ幼鳥1羽。そしてなんとヒクイナ1羽(榎本秀和)。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇9月18日、小雨がぱらついていたが、傘を持って出掛ける。その甲斐があつてか、エゾビタキ、コサメビタキ、キビタキ♀を今季初めて見ることができた。元荒川でカルガモの中にマガモ1羽(菊川和男)。

久喜市久喜菖蒲公園 ◇9月20日、昭和沼の浮島にダイサギ、コサギ、アオサギ、アマサギなど70羽土。カワウが7羽。コガモ10羽土、他にカルガモ多数(長嶋宏之)。

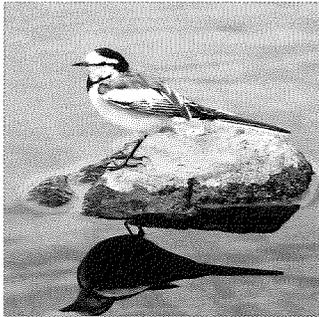
鴻巣市糠田 ◇10月3日、小学校の上空をカケスが2羽飛ぶ。今季初認(榎本秀和)。

表紙の写真

スズメ目アトリ科ベニマシコ属ベニマシコ
廣田純平(上尾市)



行事案内



ハクセキレイ (プリングマン ウィリアム)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時刻に集合場所にお出かけください。

初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生 50 円、一般 100 円。

持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：12月5日(土)

集合：午前9時30分、西武狭山湖線西武球場前駅前。

担当：石光、久保田、小林(ま)、鈴木(秀)、長谷部、水谷、持丸

見どころ：定番のカムリカイツブリは既に群れています。カモ類もいろいろ集まって来ています。他にどんな珍客に出会えるか、期待を込めて狭山湖にお出かけください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：12月6日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

交通：JR高崎線北本駅西口から、北里メディカルセンター病院行きバス8:36発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大坂、岡安、近藤、柴田、立岩、飛田、内藤、永野、村上、山野、吉原(早)

見どころ：冬鳥が勢ぞろいして待っています。ルリビタキにジョウビタキ。シメにベニマシコ。そして、アオジとカシラダカ。何種見られるかは、あなたの心がけ次第？

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：12月6日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き8:37発で「念仏橋」下車。

担当：須崎、赤堀、伊藤、大井、手塚、野口(修)、藤田、若林

見どころ：埼玉のホットスポット(自称)、芝川第一調節池。去年は51種もの鳥が観察できました。カモ類・猛禽類を中心に観察します。もちろん、ベニマシコやオオジュリンといったアシ原特有の小鳥も期待。

ご注意：コース途中にトイレがありません。天候によってはコースを変更します。

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：12月6日(日)

集合：午前8時40分、東武伊勢崎線花崎駅南口階段下。集合後徒歩で現地へ。または午前9時、加須はなさき公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線春日部8:14→久喜8:27→花崎8:34。JR宇都宮線大宮7:53→久喜8:15で東武伊勢崎線乗り換え。

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：長嶋、相原(修)、石川、菊川、竹山、星野、茂木、渡邊

見どころ：青毛堀川の土手の上からコガモの飛び立ちを観察。園内では池の周囲で採餌するヒドリガモの群れ、林床のアオジ、道路予定地ではジョウビタキやツグミ、モズなどを期待。トイレは3カ所あります。

さいたま市・岩槻文化公園探鳥会

期日：12月12日(土)

集合：午前8時35分、岩槻駅前。または、午前9時10分、文化公園国道16号側駐車場。
交通：東武アーバンパーク線大宮8:19発、または春日部8:17発で岩槻下車。集合後バスで現地へ。

担当：長野、石川、内田、榎本(建)、菊川、鈴木(誠)、鈴木(庸)、玉井、長嶋、野村(弘)、藤原、吉安

見どころ：昨年12月にはエナガ、シジュウカラ、メジロ、コゲラの混群やアカゲラ、ツグミ、シメなど35種を確認しました。トイレが完備された公園内や平坦な元荒川沿いの道をゆっくり歩いて観察しましょう。初心者も大歓迎です。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：12月13日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。
交通：秩父鉄道 熊谷9:09発、または寄居8:50発に乗車。

担当：茂木、新井、鶴飼、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上

見どころ：枯草にはカシラダカ、猛禽類も最近よく見られます。赤い鳥も見られたらいいな。芝生ではツグミがお待ちしています。

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会(平日)

期日：12月16日(水)

集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前。
または午前8時30分、中央エントランス駐車場。

交通：東武日光線新越谷7:22発、南栗橋7:52で新栃木行きに乗換え柳生8:06着またはJR宇都宮線大宮7:13→(久喜乗り換え)栗橋7:38着で7:57発の東武日光線に乗り換え。

解散：正午ころ、谷中村史跡ゾーン広場。

担当：玉井、相原(修)、植平、大坂、楠見、藤澤

見どころ：冬の渡良瀬はチュウヒ、ノスリ、ハヤブサなどの猛禽類が楽しみです。谷中湖ではたくさんのカモ類やカイツブリ類、加えて藪の中のベニマシコやオオジュリンなどの小鳥達。多彩な鳥を満喫します。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：12月19日(土)

集合：午前9時25分、森林公園南入口前
交通：東武東上線・森林公園駅下車、北口から立正大学行きバス9:05発で「滑川中学校」下車。ひとつ手前の「森林公園南入口」は通過してください。

費用：参加費以外に入園料410円(子供80円)、65歳以上210円(要年齢を証明できるもの)。

担当：中村(豊)、岡安、鈴木(秀)、藤掛、藤澤、松下、内藤

見どころ：今年も冬の鳥見シーズンが始まります。常連となっているシロハラ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ。それからビンズイ、アオジなども到着しているでしょう。カモたちの飛来状況も気になるところで。降り積む落ち葉を踏んで、陽だまりの道を山田大沼まで歩きます。

埼玉 Young 探鳥会 戸田市・彩湖道満グリーンパーク with 『BIRDER』

共催：日本野鳥の会東京、協賛：興和光学(株)

期日：12月19日(土)

集合：午前9時30分、彩湖北側無料駐車場付近。または8時20分、浦和駅西口、集合後路線バスで現地へ。

交通：浦和駅西口⑤番バス乗場から「志01：志木駅東口行き」で「さくら草公園」下車。

担当：石塚(敬)、青木、石塚(真)、小林(み)、佐野、野口(修)、菱沼(一)、廣田

見どころ：記念すべき第1回“埼玉Young探!”をカモ類・カイツブリ類、多くの水鳥が集まる「彩湖」で開催します! 参加資格は“気持ち YANG”でOK … 初心者・ご家族連れ大歓迎です(野鳥月刊誌『BIRDER』の取材が入ります)。

ご注意：「集合場所」が通常と異なります。お昼をはさんで13:30頃解散予定(お弁当をご持参ください)。興和光学(株)による最新双眼鏡の貸出があります。(貸出数に限りがあります。ご希望の方はお早めにお越しください)。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：12月19日（土）午後3時～4時ころ
会場：会事務局108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：12月20日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後路線バスで現地へ（ご注意：案内人は8時過ぎに北浦和駅東口到着予定です）。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：小林(み)、青木、赤堀、浅見(健)、浅見(徹)、石塚(敬)、楠見、小菅、柴野、須崎、新部、島山、増田

見どころ：忙しい時期ですが、時間を取ってちょっと三室へ！ 岸辺の陽だまりで休むカモたちに癒され、畑を飛び回るセキレイの仲間やヒバリに元気をもらえますよ。
ご注意：今回からは従来通り9時集合です。

年末講演会

日時：12月23日（水・祝）午後1時開場

会場：浦和コミュニティセンター9階第15集会室、JR浦和駅東口前PARCOの9階。

プログラム：第1部13:30～14:45 会員たちの『映像で振り返るこの1年』他。

第2部15:00～16:30 講演 蒲谷剛彦氏『鳥声録音 ― 録音こと始め』。

第3部17:15～19:30 懇親会（ワシントンホテル）。

参加費：100円（懇親会は5,000円の予定）。

見どころ&聞きどころ：剛彦氏のお父様の鶴彦氏は、日本で初めて「鳥の声の録音」を職業として成立させ、文化放送「朝の小鳥」の収録構成を50年近く担当しました。そのお父様が鳥に興味を持ち録音を夢見た幼いころや、戦争中も鳥への興味を失わず、戦後は弟さんと自作録音機を作り上げ、奥多摩の御岳山でコノハズクの録音に成功したことなど、録音にかける思いについて、ご講演いただきます。

◆ 第1部の映像・画像を募集中です。ビデ

オは3～5分程度、静止画は10枚程度にまとめ、パソコンで再生できるメモリでご用意ください。映像・画像、懇親会の申込みは葉書またはメールで長野誠治、

まで。

幸手市・宇和田公園探鳥会

期日：12月29日（火）

集合：午前9時30分、宇和田公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線東武動物公園駅東口から境車庫行きバス8:55発で「上宇和田」下車。北方向に徒歩約5分。

担当：佐野、植平、佐藤、竹山、田邊

見どころ：2015年、最後の探鳥会です。一年の締めくくりのにんびりと身近な冬鳥を探したいと思います。もちろんシラコバトにも期待です。

入間市・さいたま緑の森博物館探鳥会 （要予約）

期日：2016年1月23日（土）

集合：午前8時、西武池袋線小手指駅南口、集合後西武バス8:16発宮寺西行きで現地へ（リーダーが時間前に待機しています）。または午前9時、緑の森博物館管理事務所前。

解散：正午頃、管理事務所付近の予定。なお、近くにコンビニ等ありません。弁当を持参したほうが安心です。

定員：20名（埼玉会員限定、先着順。探鳥地の環境保全に配慮し、定員制とします）。

申込み：往復はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、交通手段（電車か自動車か）を明記して、石光章（

）まで。12月1日消印から受付有効とします。

担当：石光、小林(ま)、星、水谷、持丸、山本(真)

見どころ：埼玉県が狭山丘陵の豊かな自然を「博物館」の名で保全している地域です。ルリビタキ、ベニマシコ、トラツグミ、ウソ等の冬鳥が記録されています。初めての探鳥会。どんな鳥に出会えるのでしょうか？

2016年1月～4月の行事予定

探鳥計画を立てるのにご利用ください。変更されることもありますので、確定情報は、当月の会誌『しらこぼと』の行事案内でご確認ください。

月	日	曜	探鳥地
1	4	月	さいたま市 さぎ山記念公園
	9	土	戸田市 彩湖
	9	土	千葉県 船橋三番瀬海浜公園
	10	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	10	日	松伏町 まつぶし緑の丘公園
	11	月祝	滑川町 武蔵丘陵森林公園
	11	月祝	春日部市 内牧公園
	16	土	深谷市 仙元山公園
	16	土	久喜市 久喜菖蒲公園
	17	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	17	日	加須市 渡良瀬遊水地
	23	土	入間市 さいたま緑の森博物館 (要予約)
	23	土	長瀨町 長瀨
	24	日	狭山市 入間川 [定例]
	24	日	蓮田市 黒浜沼
	26	火	滑川町 武蔵丘陵森林公園 (平日)
	28	木	羽生市 羽生水郷公園 (平日)
	2	4	木
6		土	狭山市 智光山公園
6		土	嵐山町 菅谷館都幾川
7		日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
7		日	北本市 石戸宿 [定例]
11		木祝	さいたま市 大宮市民の森
13		土	滑川町 武蔵丘陵森林公園
13		土	さいたま市 岩槻文化公園
14		日	熊谷市 大麻生 [定例]
14		日	所沢市 狭山湖
20		土	上尾市 丸山公園
20		土	さいたま市 芝川第一調整池 (ヤング)
21		日	さいたま市 三室地区 [定例]
21		日	志木市 柳瀬川
28	日	本庄市 坂東大橋	
3	5	土	東京都 葛西臨海公園 (レディース)
	6	日	蓮田市 黒浜沼
	6	日	寄居町 玉淀河原
	8	火	滑川町 武蔵丘陵森林公園 (平日)
	12	土	戸田市 彩湖
12	土	さいたま市 見沼自然公園 (クリーン作戦)	

3	13	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	19	土	加須市 加須はなさき公園
	20	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	20	日	松伏町 松伏記念公園
	20	日	栃木県 日光東照宮裏山
	21	月祝	坂戸市 高麗川
	26	土	行田市 さきたま古墳公園
	26	土	秩父市 ミューズパーク
	27	日	狭山市 入間川 [定例]
	27	日	加須市 渡良瀬遊水地
4	30	水	羽生市 羽生水郷公園 (平日)
	3	日	北本市 石戸宿 [定例]
	3	日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
	9	土	所沢市 狭山湖
	10	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	10	日	長瀨町 宝登山
	17	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	17	日	春日部市 内牧公園
	24	日	さいたま市 秋ヶ瀬公園 (ヤング)
	27	水	さいたま市 秋ヶ瀬公園 (平日)
5	29	金祝	さいたま市 大久保農耕地
	21-22	土-日	長野県 戸隠高原 (要予約)

1月～4月「あの鳥は、どこで」予報

2011～2015年の1月から4月の探鳥会で見られた野鳥は、県内で138種でした。いくつかの鳥について、出現率(出現回数/実施回数)が高い探鳥会を調べてみました。今年は見られるでしょうか。

- オオハクチョウ (2月に民家園周辺で60%)
- ホオジロガモ (1月に彩湖で100%)
- ミコアイサ (1月に渡良瀬遊水地で100%)
- ハジロカイツブリ (1月に彩湖で100%)
- チュウヒ (1月に渡良瀬遊水地で100%、2月に民家園周辺で80%)
- アカゲラ (1月に武蔵丘陵森林公園で80%)
- アオゲラ (1月に長瀨で100%、2月に智光山公園と狭山湖で80%)
- ハヤブサ (2月に民家園周辺で80%)
- カケス (2月に武蔵丘陵森林公園と石戸宿で80%)
- エナガ (1月に武蔵丘陵森林公園で100%)
- アカハラ (2月に石戸宿で100%)
- ルリビタキ (2月に石戸宿と武蔵丘陵森林公園で80%)
- イカル (1月に長瀨で80%)
- ホオアカ (3月に松伏記念公園で60%)



行事報告

5月10日(日) 蓮田市 黒浜沼

参加：37名 天気：晴

キジ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ
アオサギ ダイサギ タシギ トビ カワセミ
コゲラ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス
ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ
ヒヨドリ ウグイス メジロ オオヨシキリ セ
ッカ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ
カワラヒワ ホオジロ (29種) 元荒川の岸沿い
の道から田んぼを通り上沼周辺を歩いた。田んぼ
ではダイサギの眼先が綺麗な青色になっていて見
とれた。オオヨシキリはあちこちでさえずっていた。
セッカやツバメも元気で楽しませてくれた。
残念ながらタシギ以外のシギ・チは見つからなかつたが、
終わってみれば、大勢の参加者のおかげ
で思ったより多い29種も確認できた。(玉井正晴)

5月16日(土) 長野県 中軽井沢レディース

参加：13名 天気：雨

キジ カルガモ キジバト アオサギ フクロウ
コゲラ アカゲラ アオゲラ サンショウクイ
モズ カケス ハシブトガラス ハシボソガラス
コガラ ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ツバ
メ ヒヨドリ ウグイス ヤブサメ センダイム
シクイ メジロ ゴジュウカラ ミソサザイ コ
ムクドリ クロツグミ コルリ コサメビタキ
キビタキ オオルリ スズメ キセキレイ ハク
セキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ
(38種) (番外：ガビチョウ) 初めての女性だけ
の探鳥会。雨だったが、コムクドリ、キビタキ、
ゴジュウカラなどをしっかり観察し、コルリ、サ
ンショウクイ、センダイムシクイ、ヤブサメ、イ
カルなどの鳴き声を全員で確認、堪能した。楽し
い探鳥の後は、ハルニレテラスでランチ会。充実
の1日となった。(野口由美子)

5月16日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：8名

相原修一、榎本秀和、海老原美夫、大坂幸男、小

林みどり、志村佐治、藤掛保司、増尾隆

5月17日(日) さいたま市 三室地区

参加：69名 天気：晴

キジ カルガモ キジバト カワウ アオサギ
コサギ コチドリ オオタカ カワセミ コゲラ
ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ
ヒバリ ツバメ ヒヨドリ ウグイス メジロ
オオヨシキリ セッカ ムクドリ スズメ ハク
セキレイ カワラヒワ ホオジロ (25種) (番外：
ドバト) 夏のような陽射しの中、出発。早々に
キジを発見。その後もキジは方々で出現するが、
そそくさと隠れてしまう。芝川沿いではオオヨシ
キリ。お気に入りのソングポストで元気に鳴く。
コチドリも飛び交う。水を張った田んぼにはオオ
タカの姿が！ 水浴びだろうか？ (須崎 聡)

5月24日(日) 狭山市 入間川

参加：46名 天気：晴

キジ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ
ササゴイ ダイサギ イカルチドリ コチドリ
オオタカ カワセミ コゲラ オナガ ハシボソ
ガラス ハシブトガラス シジュウカラ ツバメ
イワツバメ ヒヨドリ メジロ オオヨシキリ
ムクドリ キビタキ スズメ ハクセキレイ セ
グロセキレイ カワラヒワ ホオジロ (28種) (番
外：ドバト) 河川工事は進行中。建設機械が川
に入り、とても鳥たちが安心して過ごせるような
状況ではない。一番の見どころのササゴイは「無
理かな」と思っていたら、「ササゴイがいる！」の
声。ササゴイって結構図太い？ (長谷部謙二)

5月30日(土) 加須市 加須はなさき公園

参加：59名 天気：快晴

カルガモ キジバト カワウ ゴイサギ アオサ
ギ ダイサギ コチドリ オオタカ コゲラ モ
ズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス
シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ メジ
ロ オオヨシキリ セッカ ムクドリ スズメ
ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホ
オジロ (26種) (番外：ドバト) 「巣立ち雛と夏
鳥」を探した。新緑の木々の間でシジュウカラ、
芝生ではムクドリが採餌していた。群れの中にお
目当ての巣立ち雛もいた。アシ原ではオオヨシキ
リが囀り、姿も見られた。畔に立ったコチドリは

目の周囲の黄色いリングが鮮やかだった。開けた場所ではヒバリとセッカの声も聴けた。(長嶋宏之)

5月30～31日(土～日) 長野県 戸隠高原

参加: 23名 天気: 30日=晴、31日=曇時々晴

オシドリ カルガモ カイツブリ キジバト ホトトギス ツツドリ カッコウ アマツバメ ノスリ クマタカ コゲラ オオアカゲラ アカゲラ サンショウクイ モズ カケス ハシブトガラス キクイタダキ コガラ ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ センダイムシクイ ゴジュウカラ キバシリ ミソサザイ クロツグミ アカハラ コルリ コサメビタキ キビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ カワラヒワ イカル ホオジロ ノジコ アオジ クロジ (44種) みどりが池までのコースでキバシリをよく見ることができた。池で常連のカイツブリにごあいさつ。鏡池での昼食後、隋神門へ移動。途中、コルリやクロジの囀りを耳にするがなかなか見つけられなかった。隋神門近くで休憩中にクロジがすぐ近くに現れて、願いはかなえられた。翌日には、夜の間降っていた雨も上がり、再び森林植物園へ。前日、ほとんど囀りの聞こえなかったクロツグミやアカハラの声も聞こえる。この日のハイライトはオオアカゲラ。雄どうして争っていたのか長い間観察できた。年により主演は変わるが今年も楽しめた。

(菱沼一充)

6月7日(日) 北本市 石戸宿

参加: 47名 天気: 晴

キジ マガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト ゴイサギ アオサギ バン カッコウ カワセミ コゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ オオヨシキリ ムクドリ スズメ ホオジロ (26種) (番外: ガビチョウ) スタート早々、橋の上からオオヨシキリを望遠鏡に入れ、鳴き声と共にじっくり観察。「口の中まで良く見て下さいね」アカシジミ、ウラギンシジミの蝶やシオカラトンボ、コシアキトンボも観察したが、ホトトギスの声が聞かれなかったのが残念。でも、久しぶりにカッコウの声を聞いた人がいたのは収穫。よく晴れていたがあまり暑くならず湿度も低く、木陰に入って休

憩すると、爽やかな風が肌に心地良くて、思わず「気持ちいい」。ウラギンシジミは高尾の池でゴイサギの幼鳥に望遠鏡を合わせていたOさんの右手の指に止まったのを観察。ゴイサギの幼鳥は、いまいちそれらしくない(背中に星が無くて、少し黒っぽい)ので、ササゴイの幼鳥ではないか? 最後は、目が赤いのでゴイサギで決着。成鳥に成り掛けている幼鳥か? (吉原俊雄)

6月7日(日) さいたま市 民家園周辺

参加: 38名 天気: 晴時々曇

コジュケイ キジ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ ゴイサギ アオサギ ダイサギ コサギ バン オオバン コアジサシ ハジロクロハラアジサシ カワセミ コゲラ ハヤブサ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ メジロ オオヨシキリ セッカ ムクドリ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ホオジロ (31種) (番外: ドバト) 6月は子育ての季節。芝川沿いにはカワセミ成鳥。子育て中だろうか? 調節池に出るとオオヨシキリの声が響き渡る。池を見渡せる位置に来ると見慣れない個体がヒラヒラと。なんと、ハジロクロハラアジサシが2個体! 1羽はハッキリとわかる成鳥夏羽だ。この2個体は終始調節池の周りを飛んでいた。水面にはオオバンやカイツブリが子育て中。カワウ、ゴイサギも巣の中でジッとしている。後半は暑くなったが充実した「子育て探鳥会」となった。(須崎 聡)

6月14日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 21名 天気: 曇

キジ カルガモ キンクロハジロ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ホトトギス イソシギ トビ オオタカ コゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス メジロ オオヨシキリ ムクドリ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ホオジロ (25種) (番外: ガビチョウ) 集合場所でツバメの親子、ムクドリ幼鳥の群れを見て出発。この季節の常で鳥は少ないが、メジロ、ホオジロ、コゲラなどが現れ、遠くでホトトギスの声も聞こえる。水辺では帰りそびれたキンクロハジロが1羽で寂しそう。最後に葉陰に止まった猛禽(オオタカ)の識別で盛り上がり、無事終了。(新井 巖)



● 探鳥会参加費の金額を変更します

発足以来 31 年間、当会の探鳥会参加費は、「就学前の子無料、会員と小中学生 50 円、一般 100 円」と、据え置きのままになっていましたが、この度見直すことになり、「中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円」と変更することになりました。

近隣他支部の例を見ると、「すべて 200 円」「中学生以下無料、その他 100 円」「会員 100 円、一般 200 円」など様々です。変更は、来年 4 月から。ご理解をお願いします。

● 鳥見以前のマナー

「ある野鳥関連イベント会場から駅に帰るバスで、光学機器が何かが入っている大きなリュックサックを背負った中年の男性が、満員バスの立ち客集団の中でリュックを下ろさないものだから、リュックの荷重を周りの客の上半身に掛けて本当に迷惑だった」とのメールがイベント主催者の方に届いたとのこと。野鳥の会の会員かどうかは分かりませんが、野鳥観察マナー以前の、人として常識の問題です。

小さなザックでも、電車・バスに乗る時は、肩からおろし、前に抱えてご乗車を。

● 会員の普及活動

9 月 26 日(土)、北本自然観察公園で、新ハイキングクラブ「野鳥を観る・知る」第 15 回を指導。小林みどり、吉原俊雄、吉原早苗、柴野耕一郎、星進、工藤洋三、藤田敏恵。

10 月 21 日(水)渡良瀬遊水地で開催された彩の国シニア自然大学校野鳥専科コース第 3 回を指導。小林みどり。

● ごめんなさいコーナー

前月号 12 ページ本欄「11 月の予定」の中

で、「11 月 22 日(日) 役員会(午後 4 時から)」とあるのは、「11 月 15 日(日) 役員会(午後 5 時から)」の誤りでした。

● 会員数は

11 月 2 日現在 1,752 人。

活動と予定

● 10 月の活動

10 月 17 日(土) 見沼たんぼ・さいたま市&市民ネットワーク「私の好きな見沼たんぼ 2015」写真コンクール入賞者表彰式に出席(藤掛保司)。

10 月 10 日(土) 『しらこぼと』11 月号校正(海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、志村佐治、藤掛保司、長嶋宏之)。

10 月 18 日(日) 役員会(司会:吉原俊雄、探鳥会参加費・関東ブロック協議会準備・その他)。

10 月 19 日(月) 『野鳥』誌を購読しない会員向け、『しらこぼと』11 月号を郵便局から発送(海老原美夫)。

● 12 月の予定

12 月 5 日(土) 編集部会。普及部会。

12 月 12 日(土) 1 月号校正(午後 4 時から)。

12 月 19 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。

12 月 20 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

編集後記

自宅近くの柳瀬川は、11 月になると、それまでアユ釣りで賑わっていた川辺が、じっと座ってあたりを待つ鯉釣りの人達だけになり静かになる。来春、東京湾から小鮎が遡上してくるまで、やって来たカモ達もゆったりと過ごせるようになる。私にとっても、これから春までの柳瀬川べりの散策が楽しみになる。(山口)

しらこぼと 2015 年 12 月号(第 380 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉(〒330-0064 さいたま市浦和区岸町

4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460

郵便振替 00190-3-121130 http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org

編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル

(公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。印刷 関東図書株式会社